

#### 4. 課程認定を受けている課程を有する学科等の各段階における到達目標

<地域環境科学部造園科学科>（認定課程：高一種免（農業））

##### （1）各段階における到達目標

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	情報基礎(一)、スポーツレクリエーションなどの科目を必修として、地域環境科学概論、造園科学概論を主科目として、造園教育の特殊性、自然科学の摂理について学ぶための素養を身につける。
	後期	スポーツレクリエーション、地球環境と炭素循環、環境デザイン基礎演習、造園樹木学を履修することで、理科教育、造園教育の特殊性について学ぶための素養を身につける。
2年次	前期	測量学、測量実習、ランドスケープ作品論、などの社会科学と自然科学系の科目を履修することで、専門性の視点や捉え方を学び、問題の発見や物事の摂理を考えることができる視点を身に付ける。
	後期	日本国憲法、緑地生態学、造園計画学、造園施工材料、造園植栽学、などの科目を履修することで、専門性の視点や捉え方を学び、問題の発見や物事の摂理を考えることができる視点を身に付ける。
3年次	前期	都市緑地計画学、風景地計画学、造園工学、などの科目を履修することで、問題解決の方法を探る視点を養う。具体的には、調査や研究の視点と調査や研究の手法や方法を学習して、問題解決や専門性の進展につに対する取り組みの方法などを身に付ける。高等学校における農業教育や理科教育に必要な指導法、中学校教員として必要な指導法を身に付ける。
	後期	日本庭園論、植栽基盤論、造園施工論、などの科目を履修することで、問題解決の方法を探る視点を養う。具体的には、調査や研究の視点と調査や研究の手法や方法を学習して、問題解決や専門性の進展につに対する取り組みの方法などを身に付ける。高等学校における農業教育や理科教育に必要な指導法、中学校教員として必要な指導法を身に付ける。
4年次	前期	演習、実験など科目を通して調査を進める手段やまとめを習得する。また、教育実習を行うことで、大学教育における専門性の知識・技術を再確認するとともに、教職の就業にかかわる特殊性の理解を深め、教員としての素養と資質を確認する。
	後期	社会学系自然科学系の科目を通して農業教育にかかわる教育内容を実験や調査によって習得する。また、教育実習を行うことで、大学教育における専門性の知識・技術を再確認するとともに、教職の就業にかかわる特殊性の理解を深め、教員としての素養と資質を確認する。